

病気を予防・健康寿命を延ばす  
病気は「治す」から「防ぐ」時代です

40歳を超えたら **人間ドックを受診しましょう**

新年あけましておめでとうございます。多摩丘陵病院 健康管理部です。

皆さま、人間ドックや健康診断は年に1回は受けられていますか？

どちらも私たちの健康状態をチェックするための検査を行うという点は同じですが、目的や内容に違いがあります。

人間ドックと健康診断の違いについてご紹介します！



**健康診断(健診)**

会社や学校で行う定期健診や特定健診など労働者の安全と健康を守るために法律で義務付けられています。検査項目は基本的な健康状態をチェックします。肥満がないか、血圧は大丈夫かなどの身体の状態を把握して生活習慣病の予防につなげます。

**検診**

特定の臓器の病気を早期発見して早期に治療するために検査をすることを目的としています。胃がん検診や大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診や歯科検診などが該当します。

**人間ドック**

健康診断(健診)と検診の両方の目的を含んでいます。「自覚症状のない病気」や「将来病気を引き起こす可能性のある身体の異常」を早期に発見し、早期治療や予防を行うための総合的な検査になります。

40歳以降になると、飲酒や喫煙といった生活習慣による疾患やがんなどを発症しやすくなります。「自分の健康は自分で守る」ためにも、年に1回は人間ドックを受けていただき、ご自身の健康状態を見つめる機会を作っていただけたらと思います。加入されている健康保険組合で、人間ドック費用の一部負担の補助が出る場合もあります。詳しくは、加入している健康組合にお問い合わせください。

当院の健康管理部では、人間ドックや各種健康診断、町田市健診も承っております。

次回から、オプション検査などご紹介させていただきますので楽しみに★

Information

**交通アクセス**

〒194-0202  
東京都町田市下小山田町1401



**■多摩センター駅から**

- ・無料送迎バス：所要時間 約10分
- ・京王バス：所要時間 約20分  
11番乗り場 (多43)(多45)  
下車：多摩丘陵病院

**■町田駅から**

- ・神奈中バス：所要時間 約25分  
町田バスセンター 14番乗り場  
(町31系統) 下車：多摩丘陵病院

**■東名高速**

横浜・町田I.Cより 約35分

**■中央高速**

国立・府中I.Cより 約25分



**診療案内**

**【受付時間】**

8:30~11:30 / 13:00~15:30

月~金・土曜(午前中のみ)

初診は午前11:00まで

**【休日】**

土曜日午後 / 日曜・祝日、年末年始

**【電話番号】**

代表 042-797-1511

受診予約 042-797-8624

医療機関からの患者様紹介 042-797-1516

人間ドック 042-797-1512

健診予約 042-797-7500

急患の診療は受付時間に関係なく受付しております。

診療科目により受付時間が異なる場合があります。

詳しくは外来医師担当表をご覧ください。

**ホームページ**

<https://www.tamakyuryo.or.jp/hospital/>



**facebook**



**X**



発行：多摩丘陵病院 広報委員会

生きる力を支えあい、ぬくもりのある医療と看護を提供します

たまきゅう便り

2025.1

多摩丘陵病院広報誌 第34号

謹賀新年

TOPICS1 理事長・院長 年頭所感

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

当院は2023年、新病院として新たなスタートを切り、今年で3年目を迎えます。この間、地域の皆さまや関係者の皆さまから多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨今、科学技術の発展はめざましく、生成AIが様々な分野で活用されるようになりました。医療の現場でもAIを活用することで、業務の効率化や診断精度の向上、医師の負担軽減、医療過誤の防止などが期待できます。当院でもAIの有用性を認識して導入に向けた取り組みが必要と考えています。

一方、医療業界を取り巻く環境も大きく変化しています。コロナ禍に続き、医療経済も厳しい状況にあります。昨今の物価上昇や諸経費増加に対し、健康保険制度に基づく診療報酬が追いついていないのが現状であり、多くの医療機関が困難な経営状況に直面しています。2025年は巳年(みどし)です。巳は脱皮を繰り返しながら成長していくことから、「新たな挑戦」や「変化による発展」を象徴するとされています。これにちなんで、私たちも直面するいくつかの困難を乗り越えるべく、変化を前向きに受け入れ、一步一步着実な成長を遂げる一年にしたいと考えています。

今年の重点施策として以下の取り組みを考えています。第一に医師の効率的な人的資源の充実を図ります。2月には脳神経外科に、4月には消化器内科、整形外科、麻酔科に新たな常勤医師が加わります。これにより各診療科の体制が一層充実し、質の高い医療の提供を通じて、地域医療への貢献がさらに深まると確信しています。

第二に従来の各診療科の体制は継続することを前提に、特にいくつかの診療部門の強化を行います。救急外来では地域の救急患者さまを可能な限り受け入れ、迅速な対応を提供します。消化器センターでは消化器内科医師と消化器外科医師が協力して、質と量の両面でさらなる充実した診療を目指します。糖尿病診療では糖尿病教室を積極的に開催して患者さまへの丁寧な指導を行い、病気の理解を深めていただく取り組みをします。美容外科では年齢に関係なく美を求める患者さまのニーズに応えられるよう、予約や診療を受けやすいシステムを充実させます。人間ドックや町田市健診では、受診者さまの便宜をなるべく図った病気の早期発見・早期治療を促進し、健康寿命を伸ばすお手伝いをいたします。地域連携部では、医療連携する老人福祉施設数を4施設から6施設に増やして、地域の高齢者医療をさらに支援いたします。

私たち医療法人社団幸隆会は、「生きる力を支えあい、ぬくもりのある医療と看護を提供します」という理念のもと、全職員が一丸となり、患者さまに信頼される病院づくりに努めてまいりました。この理念を今一度共有し、職員一人ひとりが健康で働きがいのある職場環境を整えることで、より良い医療サービスの提供を目指してまいります。

最後になりましたが、2025年が皆さまにとって健康と幸せに満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

本年も変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人社団 幸隆会 理事長・院長 小澤 壮治



謹賀新年

各診療部長の  
ご挨拶

## 消化器センター センター長 渡邊 勲史

明けましておめでとうございます。

一昨年、多摩丘陵病院は新病院に移転し、これを機に消化器センターを設立しました。消化器内科、外科の専門医が互いに協力し合って、消化管疾患や肝・胆・膵疾患に対する高度の医療を提供しています。

お蔭様をもちまして、この2年間で近隣の医療機関からのご紹介も徐々に増えてまいりました。地域の中核病院としてスタッフ全員で頑張っていきたいと考えていますので、今年度も引き続き、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

## 眼科 部長 鈴木 俊一

明けましておめでとうございます。

多摩丘陵病院のセールスポイントは、病院の理念にも謳われているように、めくもりのある医療を提供している点だと考えています。現代の医療では、さまざまな器械を使用した最先端の検査を駆使するあまり、患者さまの本来の訴えや症状を軽視する場面も見受けられます。多摩丘陵病院 眼科においては、常に患者さまの立場に立ち、患者さまの訴えや症状を丁寧に汲み取りながら、患者さま一人一人に寄り添うような診療を行っていきたくと考えています。今年も地域の医療機関の先生方と緊密な連携を取りながら、地域に密着した医療に貢献し続けます。本年も宜しくお願いいたします。

## 歯科 部長 田畑 潤子

明けましておめでとうございます。  
本年も宜しく申し上げます。

昨年は、6月からリハビリ病院への往診を開始しました。同時に非常勤の若い歯科医師も二名増えていろいろと変化のある年でした。今年は内容の充実を図っていくつもりです。ただし、当科が開院時から変わりなく続けている「お口の中をきれいにすることで全身疾患の予防をしていく」という方針には変わりありません。最近「口腔機能管理」という用語もできました。「お口の中をきれいに保つ」のは歯科医療従事者だけでできることではありません。患者さまご自身が自分の口の中をきれいにしないと成り立たないのです。一人でも多くの方にご理解いただき、我々歯科医療従事者と一緒続けていけたらと願っています。

## 内科・消化器内科 部長 積田 俊也

2024年度末からの急速なインフルエンザの流行とともに新年を迎えました。平素は当院内科が大変お世話になりありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症を含めた感染症との闘い、気候変動による様々な健康への影響、少子高齢化による医療・福祉等の社会構造の変化など困難な状況の中でも根気強く粘り進み、再生と成長の年になりますようお願いしております。

地域連携を強化し、南多摩医療圏発展に本年もどうか宜しくお願い申し上げます。

## 整形外科 部長 塩津 達也

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、急な常勤医の人数低下のために、目標としていた医療の提供が限られてしまったことをまずお詫びいたします。4月より以前の定数に戻る予定であり、今まで以上の医療を施していくことを目標といたします。

また、整形外科手術関連の新しい流れに乗り遅れることなく、最新の医療を提供してまいります。

本年も宜しく申し上げます。

## 麻酔科 部長 田代 護

新年おめでとうございます。

多摩丘陵病院も新しい病院になり3年目になりますが、麻酔科は本年4月より常勤医師2名になります。

年間手術件数は昨年度は1337件で年々増加傾向にありますが、特に高齢の皆さまの手術件数が増えています。そのため、より手術麻酔の管理の安全性が求められています。それに対応すべくスタッフ、施設の充実を図り安全な麻酔医療を皆さまに提供し、少しでもお役にたちたいと考えております。

本年も宜しく申し上げます。

## 健康管理部 部長 佐藤 美津江

新年あけましておめでとうございます。

皆さま、人間ドックや健康診断は年に一度は受けられていますか？どちらも私たちの健康状態をチェックするための検査を行います。

病気は「治す」から「防ぐ」時代です。「自分の健康は自分で守る」ためにも、年に一度は人間ドックや健康診断を受けていただき、ご自身の健康状態を見つめる機会を作っていただけたらと思います。

## 外科・消化器外科 部長 中村 威

謹んで新春をお祝い申し上げます。

外科・消化器外科は昨年10月より新体制となり、実は現場の主力人数が減ってしまいました。しかし、何とかやり繰りして、今までと同じ、もしくはそれ以上のパフォーマンスを達成できるようにと意思疎通を図っております。

これからも地域の皆さまのご期待に応えられるよう努力を重ねて精進する所存ですので、本年も引き続き、ご指導ご鞭撻の程宜しく申し上げます。

## 脳神経外科 部長 横山 治久

新年あけましておめでとうございます。

令和6年は、残念ながら元日に能登半島地震のニュースから始まるという年でした。更に豪雨の追い打ちがかかるなど、未だ復興半ばの皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

さて、新病院開院以来常勤医1名で皆さまのご期待に応えるべく努力してまいりましたが、本年新たに古川博規医師が着任される事となりました。非常勤の先生方共々、これまで以上に地域の皆さまのお役に立てるよう努力をしてまいりますので、何卒宜しく申し上げます。

## 泌尿器科 部長 福島 岳志

昨今の医療の進歩は日進月歩で、泌尿器科領域でも大きな手術ではロボット支援手術が急速に適応を拡大し、治療においても前立腺癌や膀胱癌では新たな治療が毎年承認されてきています。

泌尿器科は現在常勤医1人+大学から派遣の非常勤医体制で頑張っております。最新の学術情報を吸収し近隣の基幹病院とも連携しつつ、患者さまに対して適切な治療を提供できるように今年も頑張る所存です。

患者さまファーストです。

## 救急科 田中 秀治

皆さま 新年おめでとうございます。

救急外来は新病院が立ち上がったから2回目の正月を迎えました。昨年は10月頃からCOVID19が完全に減少する前に、マイコプラズマ肺炎が増えました。また12月後半は、インフルエンザの流行のピークが重なったため、救急外来に毎日30名から多い日には40名近い発熱患者が来院することになりました。さながらCOVID19感染のピーク時のような状況となりました。それでも救急外来は少ないスタッフで、地域の方々、地域のクリニックからの転送、地域の高齢者施設からの転送そして救急車による搬送依頼に対応しております。一生懸命頑張っておりますので、どうぞ近くに来られた時はお声がけください。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。